

科目 No.61

分野	専門分野	科目	母性看護学：母性看護の概論																																										
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	1 単位 30 時間（15 回）	配当時期	2 年前期																																								
講師名	緒方裕美	所属および実務経験	専任教員 / 医療機関において助産師として勤務																																										
<p>【科目のねらい】</p> <p>母性看護学はリプロダクティブヘルス/ライツの理念を看護の基盤として、看護の対象及び看護の機能と役割を理解し、看護実践に必要な基礎的な能力を養うことを目指しています。</p> <p>ここでは、時代の変遷とともに拡大する母性看護の役割と、女性の生涯を通じた健康の維持・増進のための看護を基盤として、次世代の健全育成を目指す看護について学習していきましょう。また、女性ホルモンの状態からライフサイクルごとに生じる健康問題、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状、女性とリプロダクティブヘルス/ライツをめぐる課題についても、考えてみましょう。</p>																																													
<p>【目的】リプロダクティブヘルス/ライツの観点から、母性看護を実践する基盤を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護の基盤となる概念や理論について記述することができる。</li> <li>2. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について考察することができる。</li> <li>3. 女性のライフステージ各期における健康障害と看護について記述することができる。</li> <li>4. リプロダクティブヘルスケアについて記述することができる。</li> <li>5. 性と生殖にかかわる倫理について考察することができる。</li> </ol>																																													
<p>【DPとの関連】</p> <p>DP1 人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。</p> <p>DP2 看護専門職の役割と責務を自覚し、倫理的判断に基づく看護実践やリーダーシップを示すことができる。</p> <p>DP4 対象のQOL（Quality Of Life：生活の質）向上を目指し、対象の持てる力を活かした看護や安心・安全な生活を支援する看護を実践することができる。</p> <p>DP5 多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる。</p> <p>DP6 心身の健康管理能力及び社会人基礎力や情報活用能力を発展させ、看護の質の向上を目指し、自ら学び続ける姿勢を表現することができる。</p>																																													
<p>【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>学習内容</th> <th>方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>母性看護の基盤となる概念 母性とは、ヘルスプロモーション</td> <td>講義</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>母子関係と家族発達：愛着・母子相互作用と母子関係形成（発達理論、アタッチメント理論、母親役割獲得、母子相互作用） 家族機能と発達課題 リプロダクティブヘルス/ライツ</td> <td>講義</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>セクシュアリティ：セクシュアリティに関する概念、性的マイノリティ</td> <td>講義 ポストテスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 母性看護の歴史の変遷と現状：母性看護にかかわる指標とその推移、母性看護にかかわる法律</td> <td>講義 ポストテスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>母性看護の歴史の変遷と現状：母性看護にかかわる施策 母性看護の提供システム</td> <td>講義 ポストテスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>母性看護の対象理解 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化： 生殖器の形態・機能（月経周期）、性分化、妊娠の成立</td> <td>講義 ポストテスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>女性のライフサイクルと家族（家族理論）</td> <td>講義</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>女性のライフステージ各期における看護、リプロダクティブヘルスケア 思春期の健康と看護 性感染症とその予防</td> <td>講義 演習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>家族計画</td> <td>講義</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						回	学習内容	方法	備考	1	母性看護の基盤となる概念 母性とは、ヘルスプロモーション	講義		2	母子関係と家族発達：愛着・母子相互作用と母子関係形成（発達理論、アタッチメント理論、母親役割獲得、母子相互作用） 家族機能と発達課題 リプロダクティブヘルス/ライツ	講義		3	セクシュアリティ：セクシュアリティに関する概念、性的マイノリティ	講義 ポストテスト		4	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 母性看護の歴史の変遷と現状：母性看護にかかわる指標とその推移、母性看護にかかわる法律	講義 ポストテスト		5	母性看護の歴史の変遷と現状：母性看護にかかわる施策 母性看護の提供システム	講義 ポストテスト		6	母性看護の対象理解 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化： 生殖器の形態・機能（月経周期）、性分化、妊娠の成立	講義 ポストテスト		7	女性のライフサイクルと家族（家族理論）	講義		8	女性のライフステージ各期における看護、リプロダクティブヘルスケア 思春期の健康と看護 性感染症とその予防	講義 演習		9	家族計画	講義	
回	学習内容	方法	備考																																										
1	母性看護の基盤となる概念 母性とは、ヘルスプロモーション	講義																																											
2	母子関係と家族発達：愛着・母子相互作用と母子関係形成（発達理論、アタッチメント理論、母親役割獲得、母子相互作用） 家族機能と発達課題 リプロダクティブヘルス/ライツ	講義																																											
3	セクシュアリティ：セクシュアリティに関する概念、性的マイノリティ	講義 ポストテスト																																											
4	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 母性看護の歴史の変遷と現状：母性看護にかかわる指標とその推移、母性看護にかかわる法律	講義 ポストテスト																																											
5	母性看護の歴史の変遷と現状：母性看護にかかわる施策 母性看護の提供システム	講義 ポストテスト																																											
6	母性看護の対象理解 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化： 生殖器の形態・機能（月経周期）、性分化、妊娠の成立	講義 ポストテスト																																											
7	女性のライフサイクルと家族（家族理論）	講義																																											
8	女性のライフステージ各期における看護、リプロダクティブヘルスケア 思春期の健康と看護 性感染症とその予防	講義 演習																																											
9	家族計画	講義																																											

	人工妊娠中絶と看護		
10	月経異常 成熟期の健康と看護	講義 演習	
11	性暴力を受けた女性に対する看護	講義	
12	喫煙と女性の健康 国際化社会と看護	演習	
13	更年期・老年期の健康と看護	演習	
14	出生前からのリプロダクティブヘルスケア 不妊治療と看護	講義 ポストテスト	
15	遺伝相談・出生前診断	講義 ポストテスト	
	試験		
<p>【準備学習内容】</p> <p>テキストによる事前学習をしっかりと行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。</p> <p>重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようなポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。</p> <p>わからない語句について調べておきましょう。一人ひとりが調べ学習をしっかりと行い、演習が効果的な時間となるよう努めましょう。</p> <p>6回目までに、女性生殖器の解剖生理についてワークシートに取り組み、授業時、持参してください。授業後提出となります。</p> <p>8回目までに、思春期女性の特徴についてワークシートに取り組み授業時持参してください。授業後提出となります。</p> <p>10回目までに、成熟期女性の特徴についてワークシートに取り組み授業時持参してください。授業後提出となります。</p> <p>12回目までに、喫煙の健康への影響についてワークシートに取り組み授業時持参してください。授業後提出となります。</p> <p>13回目までに、更年期女性・老年期女性の特徴について、ワークシートに取り組み授業時持参してください。授業後提出となります。</p> <p>動画視聴： 6回目までに「看護教育シリーズ 生体のしくみ vol.20 生殖のしくみ」を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p> <p>15回目までに「医学教育シリーズ 目で見える病気 vol.6 先天異常と遺伝子異常」を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p>			
<p>【使用するテキスト】</p> <p>森恵美他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論 医学書院 2023</p> <p>森恵美他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論 医学書院 2023</p>			
<p>【参考文献】</p> <p>安藤雄一他監 公衆衛生がみえる メディックメディア 2021-2022</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>授業終了時のポストテスト（20点）、課題レポートを含む演習への取り組み・成果（25点）、筆記試験（55点）</p> <p>課題レポートは指定された日時までに提出してください。指定日時までに提出されたものを評価の対象とします。</p>			
<p>【受講上の注意】</p> <p>事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行っていきましょう。</p>			

科目 No.62

分野	専門分野	科目	母性看護学：母性看護の方法 I		
必修・選択	必修	単位数 時間数 (回数)	1 単位 30 時間 (15 回)	配当時期	2 年全期
講師名	椎葉美千代	所属および実務経験	助産師		
	坂井美緒		専任教員 / 医療機関において助産師として勤務		
	緒方裕美		専任教員 / 医療機関において助産師として勤務		
【科目のねらい】 母性看護学はプロダクティブ/ライツの理念を看護の基盤として、看護の対象及び看護の機能と役割を理解し、看護実践に必要な基礎的な能力を養うことを目指しています。ここでは、妊娠・分娩・産褥期にある対象、および新生児の正常な経過を理解しましょう。ウェルネスの視点から、妊娠および出産に関わる健康課題や、健康問題を明らかにし、基礎的な看護の方法を理解していきましょう。					
【目的】妊娠・分娩・産褥・新生児の身体的・精神的・社会的変化および胎児の成長発達と新生児の生理的特徴とその看護について理解し、基礎的知識を養う。					
【到達目標】 1. 妊娠・分娩・産褥期各期の生理的变化を説明することができる。 2. 妊娠・分娩・産褥期各期にある対象者へ看護の方法について説明することができる。 3. 新生児の生理、および体外生活の適応への援助について述べるができる。					
【DPとの関連】 DP1 人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。 DP2 看護専門職の役割と責務を自覚し、倫理的判断に基づく看護実践やリーダーシップを示すことができる。 DP3 対象の反応から臨床判断し、健康レベルに応じた看護を科学的根拠に基づき実践することができる。 DP4 対象のQOL (Quality Of Life : 生活の質) 向上を目指し、対象の持てる力を活かした看護や安心・安全な生活を支援する看護を実践することができる。 DP5 多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる。 DP6 心身の健康管理能力及び社会人基礎力や情報活用能力を発展させ、看護の質の向上を目指し、自ら学び続ける姿勢を表現することができる。					
【授業の流れ】 (全体スケジュール・学習内容・方法等)					
回	学習内容		方法	備考	
1	妊娠期の看護：妊娠期の身体的特性		講義	椎葉美千代	
2	妊娠期の看護：妊娠期の心理・社会的特性		講義		
3	妊娠期の看護：妊婦と胎児のアセスメント 妊婦の健康相談・教育、親になるための準備教育		講義 ポストテスト		
4	妊娠期の看護の実際： 内診時の介助、レオポルド触診法、腹囲・子宮底測定、胎児心音聴取		演習 ポストテスト		
5	分娩期の看護：分娩の要素、分娩の経過		講義	坂井美緒	
6	分娩期の看護：産婦・胎児・家族のアセスメント		講義 ポストテスト		
7	分娩期の看護：産婦と家族の看護		講義		
8	分娩期の看護の実際：産痛緩和法 基本的コードへの看護 母子早期接触		演習 ポストテスト		
9	新生児期の看護：新生児の生理		講義		
10	新生児期の看護：新生児のアセスメント 出生直後の看護、出生後から退院までの看護、生後1か月健診に向けた退院時の看護		講義 ポストテスト	緒方裕美	
11	新生児の看護の実際：新生児の抱き方 オムツ交換 臍処置 バイタルサイン測定 沐浴		演習 ポストテスト		
12	産褥期の看護：産褥期の経過		講義		
13	産褥期の看護：褥婦のアセスメント		講義	緒方裕美	
14	産褥期の看護：褥婦と家族の看護 退院後の看護		講義 ポストテスト		

15	産褥期の看護の実際：乳房の手当て 授乳介助 悪露の観察 産褥体操	演習 ポストテスト	
	試験		
<p><b>【準備学習内容】</b></p> <p>テキストによる事前学習をしっかりと行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。</p> <p>重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。わからない語句について調べておきましょう。</p> <p>4 回目の演習に向けてテキスト巻末にある QR コード（レオポルド触診法、母体計測法、超音波）を読み取り動画を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p> <p>8 回目の演習に向けてテキスト巻末にある QR コード（圧迫法、腹部のマッサージ法、腹部以外のマッサージ法、分娩時の安楽な体位）を読み取り動画を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p> <p>1 1 回目の演習に向けて、テキスト「周産期マニュアル」を見て新生児の沐浴の手順書をレポートにまとめて、授業時持参してください。授業後提出となります。また、テキスト巻末にある QR コード（新生児の看護全般）を読み取り動画を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p> <p>1 5 回目の演習に向けて、乳房の観察と授乳支援、子宮復古の観察とケアについてワークシートに取り組み、授業時持参してください。授業後提出となります。</p> <p><b>動画視聴：</b></p> <p>1 回目の講義開始までに、「看護教育シリーズ 周産期の実際と支援 vol.1 周産期の実際」を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p> <p>5 回目の講義開始までに、「看護教育シリーズ 目で見える新生児看護 vol.3 胎外環境への適応生理（1）呼吸機能の観察とアセスメント」を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p> <p>9 回目の講義開始までに、「看護教育シリーズ目で見える新生児看護 vol.3 胎外環境への適応生理（1）,（2）」を全て視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p> <p>12 回目の講義開始までに、「看護教育シリーズ 産褥経過のアセスメントと支援の実際 vol.2 産褥早期の母親へのアセスメントと支援」を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p>			
<p><b>【使用するテキスト】</b></p> <p>森恵美他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔1〕母性看護学概論 医学書院 2023</p> <p>森恵美他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕母性看護学各論 医学書院 2023</p> <p>立岡弓子他 新訂版 周産期ケアマニュアル 第3版 サイオ出版 2020</p>			
<p><b>【参考文献】</b></p> <p>佐世正勝他 ウエルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 医学書院 2009</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業終了時のポストテスト（25点）、課題レポート（10点）、チェックリストを用いた沐浴技術試験（10点）、筆記試験（55点）</p> <p>課題レポートやチェックリストは指定された日時までに提出してください。指定日時までに提出されたものを評価の対象とします。</p> <p>到達レベル 演習Ⅰ：新生児の沐浴・清拭</p> <p>到達度の確認は、以下のいずれかで行う。詳細は別紙参照。</p> <p>演習中の技術確認、チェックリストを活用したグループ学習の自己評価と他者評価の提出、自己練習後の動画提出、対面による技術試験など</p>			
<p><b>【受講上の注意】</b></p> <p>事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行っていきましょう。</p> <p>チェックリストを用いて自己評価を行ないながら技術練習していきましょう。</p>			

科目 No.63

分野	専門分野	科目	母性看護学：母性看護の方法Ⅱ		
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	1 単位 30 時間（15 回）	配当時期	2 年後期
講師名	平岡純	所属および実務経験	九州医療センター／助産師		
	青木小夜子		九州医療センター／助産師		
	持増紗耶香		九州医療センター／助産師		
	緒方裕美		専任教員 / 医療機関において助産師として勤務		
【科目のねらい】					
<p>母性看護学はプロダクティブ/ライツの理念を看護の基盤として、看護の対象及び看護の機能と役割を理解し、看護実践に必要な基礎的な能力を養うことを目指しています。ここでは、正常な経過から逸脱し異常な状態にある妊娠・分娩・産褥期にある対象、および新生児の経過を理解し、適切な看護を行うための知識と方法を学んでいきます。また身体的特徴と心理・社会的特性を踏まえて、対象者の看護を考える基盤を養う機会にしていきたいと思います。</p>					
【目的】正常な経過から逸脱し異常な状態にある妊娠・分娩・産褥期および新生児の特徴と看護及び科学的根拠に基づき母性看護を実践できる基礎的能力を養う。					
【到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠・分娩・産褥期各期の異常と看護について述べるができる。</li> <li>2. 新生児の異常と看護について述べるができる。</li> </ol>					
【DPとの関連】					
<p>DP1 人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。</p> <p>DP2 看護専門職の役割と責務を自覚し、倫理的判断に基づく看護実践やリーダーシップを示すことができる。</p> <p>DP3 対象の反応から臨床判断し、健康レベルに応じた看護を科学的根拠に基づき実践することができる。</p> <p>DP4 対象のQOL（Quality Of Life：生活の質）向上を目指し、対象の持てる力を活かした看護や安心・安全な生活を支援する看護を実践することができる。</p> <p>DP5 多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる。</p> <p>DP6 心身の健康管理能力及び社会人基礎力や情報活用能力を発展させ、看護の質の向上を目指し、自ら学び続ける姿勢を表現することができる。</p>					
【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）					
回	学習内容		方法	備考	
1	妊娠期の異常と看護：1. ハイリスク妊娠 2. 妊娠期の感染		講義	平岡純	
2	妊娠期の異常と看護：1. 妊娠疾患 2. 異所性妊娠 3. 多胎妊娠		講義		
3	妊娠期の異常と看護：1. 妊娠高血圧症候群 2. 切迫流・早産 3. 妊娠糖尿病		講義 ポストテスト		
4	分娩期の異常と看護：1. 産道の異常 2. 娩出力の異常 3. 胎児の異常による分娩障害		講義	青木小夜子	
5	分娩期の異常と看護：1. 胎児付属物の異常 2. 胎児機能不全 3. 分娩時異常出血		講義		
6	分娩期の異常と看護：1. 帝王切開術をうける産婦の看護		講義 ポストテスト		
7	新生児期の異常と看護：1. 新生児仮死 2. 低出生体重児 3. 高ビリルビン血症		講義 ポストテスト	持増紗耶香	
8	産褥期の異常と看護：1. 子宮復古不全 2. 産褥期の発熱		講義		
9	産褥期の異常と看護：1. 産褥血栓症 2. 精神障害		講義		
10	産褥期の異常と看護：1. 感染症を有する褥婦 2. 乳房トラブル		講義 ポストテスト	緒方裕美	
11	紙上事例による看護過程の展開（産褥期・新生児期）		講義 演習		
12	1. 母性看護における看護過程 2. 情報収集・アセスメント技術				
13	3. 褥婦への看護計画				
14					

15	発表 まとめ		
	試験		
<p>【準備学習内容】</p> <p>テキストによる事前学習をしっかりと行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。 重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようなポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。わからない語句について調べておきましょう。</p> <p>1 1 回目までに、正常な新生児の生理的特徴、また、麻酔が身体に及ぼす影響、術後合併症について事前にレポートにまとめておきましょう。授業時に持参してください。授業後提出となります。</p> <p>動画視聴：1 回目の講義開始までに、「看護教育シリーズ 周産期の実践と支援 vol.3 周産期の異常とケア」を視聴しイメージ化を図っておきましょう。</p>			
<p>【使用するテキスト】</p> <p>岡恵美他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔1〕母性看護学概論 医学書院 2023          岡恵美他著 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕母性看護学各論 医学書院 2023          立岡弓子他著 新訂版 周産期ケアマニュアル 第3版 サイオ出版 2020</p>			
<p>【参考文献】</p> <p>佐世正勝他編 ウエルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 医学書院 2009          村越毅編著 術前・術中・術後のアセスメント&amp;ケアを時系列で網羅！帝王切開バイブル メディカ出版 ペリネイタルケア 2018          竹内正人編著 助産師だからこそ知っておきたい術前・術後の管理とケアの実践 帝王切開のすべて メディカ出版 ペリネイタルケア 2013</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>授業終了時のポストテスト（15点）、課題レポートを含む演習への取り組み・成果（35点）、筆記試験（50点）          課題レポートは指定された日時までに提出してください。指定日時までに提出されたものを評価の対象とします。</p>			
<p>【受講上の注意】</p> <p>事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行っていきましょう。</p>			

